

令和4年度第3四半期連結決算概要

令和5年1月30日
東海旅客鉄道株式会社

- ・新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、東海道新幹線・在来線ともにご利用が増加したことなどから、**連結営業収益は前年と比べ増加**。
- ・営業費は、当社の物件費やグループ会社における売上原価の増等により増加したが、**増収・増益の決算**。
- ・通期の業績予想については、**前回予想を据え置く**。引き続き、安全・安定輸送の確保を最優先に輸送機関としての使命を果たしつつ、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経営状況から脱却すべく、「業務改革」を推進するとともに、新しい発想により「収益の拡大」を実現することに挑戦し、経営体力の再強化に取り組む。

1. 連結損益の概要（累計）

(1) 営業収益 1兆191億円（対前年同期+3,327億円、48.5%増）

- ・当社の**運輸収入は、対前年同期2,986億円（61.7%）増の7,826億円**。
- ・東海道新幹線については、「のぞみ12本ダイヤ」を活用して、需要にあわせた弾力的な列車設定を行うなど、輸送サービスの充実に取り組んだ。また、車内でオリジナルイベント等を実施できる「貸切車両パッケージ」の販売を開始するとともに、「ずらし旅」や「推し旅アップデート」の展開等、魅力ある旅行商品等を販売したほか、奈良にスポットをあてた新たな観光キャンペーン「いざいざ奈良」を開始した。さらに、一時的な打ち合わせやWeb会議等にご利用いただける個室タイプの「ビジネスブース」を一部のN700S車内に試験的に導入したほか、半個室タイプのビジネスコーナーを全ての「のぞみ」停車駅に設置するなど、車内や駅のビジネス環境の整備に取り組んだ。
- ・在来線については、「しなの」、「ひだ」等の特急列車について、需要にあわせ弾力的に増結や増発を行うとともに、昨年7月に「ひだ」でハイブリッド方式の新型特急車両HC85系の営業運転を開始した。
- ・上記の結果、東海道新幹線の運輸収入は対前年同期2,867億円（66.1%）増の7,202億円、在来線の運輸収入は対前年同期119億円（23.7%）増の623億円となった。
- ・鉄道以外の事業においては、JRセントラルタワーズと開業5周年を迎えたJRゲートタワーを一体的に運営し、顧客ニーズを捉えた営業施策を展開するなど収益の拡大を図った結果、グループ全体でも増収。

(2) 営業費 7,127億円（対前年同期+635億円、9.8%増）**(3) 営業利益 3,063億円（対前年同期+2,691億円、724.2%増）****(4) 営業外損益 △518億円（対前年同期△0億円）****(5) 経常利益 2,544億円（対前年同期+2,691億円）****(6) 親会社株主に帰属する四半期純利益 1,806億円（対前年同期+1,929億円）**

2. 令和4年度の業績予想

- ・通期の業績予想については、前回予想を据え置く。

※ 金額は単位未満端数切捨（補足説明資料2以降についても同じ）

比較第3四半期損益計算書【連結】

(単位 億円、%)

科 目	令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	6,863	10,191	3,327	148.5
運 輸 業	5,219	8,218	2,998	157.5
流 通 業	688	954	265	138.6
不 動 産 業	310	334	24	107.9
そ の 他	645	684	38	106.0
営 業 費	6,492	7,127	635	109.8
営 業 損 益	371	3,063	2,691	824.2
営 業 外 損 益	△ 518	△ 518	△ 0	100.0
営 業 外 収 益	127	105	△ 21	83.1
営 業 外 費 用	646	624	△ 21	96.7
経 常 損 益	△ 147	2,544	2,691	—
特 別 損 益	23	△ 4	△ 27	—
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 益	△ 123	2,540	2,664	—
法 人 税 等	△ 14	725	739	—
四 半 期 純 損 益	△ 108	1,815	1,924	—
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 益	14	9	△ 5	62.1
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 益	△ 123	1,806	1,929	—
四 半 期 包 括 利 益	△ 207	1,798	2,006	—

(注) 営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

比較第3四半期損益計算書【単体】

(単位 億円、%)

科 目	令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	5,357	8,368	3,011	156.2
運 輸 収 入	4,839	7,826	2,986	161.7
そ の 他 の 収 入	517	542	24	104.8
営 業 費	4,976	5,460	484	109.7
人 件 費	1,201	1,276	75	106.3
物 件 費	2,119	2,395	275	113.0
租 税 公 課	263	289	25	109.8
減 価 償 却 費	1,391	1,498	107	107.7
営 業 損 益	381	2,908	2,527	763.0
営 業 外 損 益	△ 551	△ 530	21	96.1
営 業 外 収 益	98	99	0	100.8
営 業 外 費 用	649	629	△ 20	96.8
経 常 損 益	△ 170	2,378	2,548	—
特 別 損 益	△ 102	4	107	—
税引前四半期純損益	△ 272	2,383	2,655	—
法 人 税 等	△ 40	705	746	—
四 半 期 純 損 益	△ 232	1,677	1,909	—

輸送人キロおよび運輸収入の比較（第3四半期）

（単位 百万人キロ、億円、％）

			令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減	前期比	(参考)	
							令和4年度 10～12月	前期比
輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定 期	748	833	85	111.3	284	111.9
		定期外	17,670	30,139	12,470	170.6	11,672	137.7
		合 計	18,418	30,973	12,555	168.2	11,956	136.9
	在 来 線	定 期	3,698	3,771	73	102.0	1,271	102.6
		定期外	1,517	2,119	602	139.7	754	119.2
		合 計	5,215	5,890	674	112.9	2,025	108.2
	合 計	定 期	4,447	4,605	158	103.5	1,555	104.2
		定期外	19,187	32,258	13,071	168.1	12,426	136.4
		合 計	23,633	36,862	13,229	156.0	13,981	131.9
運 輸 収 入	新 幹 線	定 期	89	98	8	(71.2) 109.5	33	(72.8) 110.4
		定期外	4,245	7,104	2,858	(73.3) 167.3	2,743	(81.3) 135.8
		合 計	4,335	7,202	2,867	(73.3) 166.1	2,777	(81.2) 135.4
	在 来 線	定 期	226	230	4	(85.8) 101.8	76	(86.4) 102.3
		定期外	278	393	115	(75.2) 141.5	141	(79.7) 124.8
		合 計	504	623	119	(78.8) 123.7	218	(81.9) 115.9
	合 計	定 期	315	328	12	(80.8) 104.0	110	(81.7) 104.6
		定期外	4,523	7,498	2,974	(73.4) 165.7	2,885	(81.2) 135.2
		合 計	4,839	7,826	2,986	(73.7) 161.7	2,995	(81.2) 133.8
合計 (小荷物含む)		4,839	7,826	2,986	(73.7) 161.7	2,995	(81.2) 133.8	

- (注)1. 当社単体に係る輸送人キロおよび運輸収入を記載
2. 輸送人キロは単位未満端数四捨五入
3. 前期比欄の()内は、平成30年度との比較を記載

比較第3四半期貸借対照表【連結】

(単位 億円)

科 目	令和3年度 期 末	令和4年度 第3四半期末	増 減
流 動 資 産	26,827	26,781	△ 45
うち 中央新幹線建設資金管理信託	18,130	16,317	△ 1,813
固 定 資 産	67,677	67,407	△ 270
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	55,497	56,478	981
投 資 そ の 他 の 資 産	12,180	10,928	△ 1,251
資 産 合 計	94,505	94,189	△ 316
流 動 負 債	7,373	6,777	△ 595
固 定 負 債	51,039	49,777	△ 1,261
負 債 合 計	58,412	56,555	△ 1,857
純 資 産 合 計	36,092	37,633	1,541
負 債 純 資 産 合 計	94,505	94,189	△ 316
(再掲) 長期債務	49,416	49,561	144
中央新幹線建設長期借入金	30,000	30,000	-
社 債	8,907	9,087	180
長 期 借 入 金	5,244	5,240	△ 3
鉄道施設購入長期未払金	5,265	5,233	△ 32

参考:比較第3四半期セグメント別営業損益

(単位 億円、%)

科 目		令和3年度 累計	令和4年度 累計	増 減	前期比
営 業 収 益	運 輸 業	5,290	8,296	3,006	156.8
	流 通 業	748	1,010	262	135.0
	不 動 産 業	541	571	30	105.6
	そ の 他	1,540	1,638	97	106.3
	調 整 額	△ 1,256	△ 1,325	△ 68	105.5
	計	6,863	10,191	3,327	148.5
セグメント損益 (営 業 損 益)	運 輸 業	322	2,843	2,521	881.2
	流 通 業	△ 39	54	93	-
	不 動 産 業	133	151	18	113.9
	そ の 他	△ 29	24	53	-
	調 整 額	△ 15	△ 10	5	67.9
	計	371	3,063	2,691	824.2

- (注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む
2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去